

百人一首 (うたばんごう 歌番号: 31 ~ 35)

人はいさ
こころし
心も知らず
ふるさとは
花ぞ昔の
香にほひける
紀貫之
きのつらゆき



誰をか
しる人
にせむ
高砂の
松も昔の
友ならなく
藤原興風
ふじわらのおきかぜ



ひさかたの
光のどけき
春の日に
しづこころなく
花の散るらむ
紀友則
きのともりの



やまがわ
山川に
風のかけたる
しがらみは
流れもあへぬ
紅葉なりけり
春道列樹
はるみちのつらき



朝ぼらけ
有明の月と
見るまでに
吉野の里に
降れる白雪
坂上是則
さかのうえのこれのり



はなぞむか
おしのかに
いけるに

まつもむか
しのともな
らなくに

しづこころ
なくはなの
ちるらん

ながれもあ
えぬもみじ
なりけり

よしののさ
とにふれる
しらゆき